

竿燈交流会

～特別支援学校のみなさんの妙技～

7月19日(金)、附属特別支援学校の体育館で竿燈交流会が行われました。これまで、お隣の学校から時折聞こえてくる笛や太鼓の音色にわくわくしていた幼稚園の子どもたち。普段の遊びの中で竿燈ごっこを楽しんでいた子どももあり、それぞれに楽しみにしながら当日を迎えました。

揃いの半纏にはちまきを締めた生徒さんたちによる迫力ある演技が始まると、子どもたちの目は釘付け。手の平だけでなく、肩や腰、額に重い竿燈をのせた難しい演技も披露され、子どもたちは、「どっこいしょ、どっこいしょ。」と元気な掛け声と手拍子で差し手のみなさんを応援していました。

後半は、“ふれあい竿燈”で太鼓や竿燈に挑戦しました。生徒さんたちが竿燈を支えてくれたり、太鼓に合わせて笛を吹いてくれたりと優しく接してくれたので、子どもたちも安心して楽しむことができました。

特別支援学校のみなさん、素敵な演技をありがとうございました。この日は、朝から雨が心配される天気だったため室内での演技となりましたが、竿燈祭り当日は、夏の夜空のもと、さらに力のこもった演技が披露されることを願っています。本番もがんばってくださいね！

